

スポーツ推進計画の目標達成に係る 課題と取組の状況

基本方針1「スポーツによる健康づくりの推進」

目標：成人の週1回以上のスポーツ実施率70%以上（R3:57.1%）

令和2・3年度スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（単位：%）

年齢		20代		30代		40代		50代		60代		70代		全体	
年度		R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
合計	全国	58.3	53.5	55.1	50.7	52.8	51.0	54.2	51.7	65.1	59.6	74.8	71.7	59.9	56.4
	静岡県	57.7	49.1	57.3	54.0	45.4	51.1	50.0	50.5	67.9	60.9	74.4	73.9	58.0	57.1
男性	全国	61.3	57.6	59.0	55.4	53.7	52.8	55.3	52.8	65.3	60.1	76.3	72.3	61.8	58.5
	静岡県	68.0	46.7	62.8	63.2	45.5	57.4	64.7	58.5	71.1	64.7	75.0	78.0	63.5	62.1
女性	全国	55.1	49.3	51.0	45.7	51.9	49.1	53.1	50.4	65.0	59.1	73.6	71.2	58.3	54.1
	静岡県	48.1	52.0	51.3	40.0	45.3	43.9	28.6	44.4	65.1	55.6	73.5	70.2	56.9	51.8

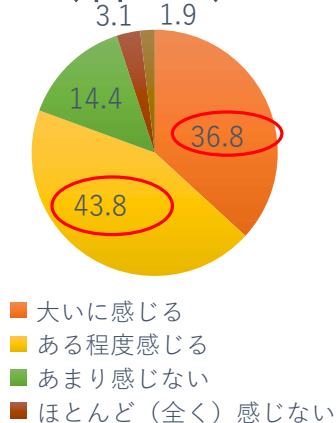
【分析】

- ・70代の実施率は目標を上回っているが、働き盛り世代の実施率が伸び悩んでいる。
- ・20代～50代女性の実施率が特に低い。
（多忙や家事を理由にスポーツをしない。
スポーツを面倒と感じている。）

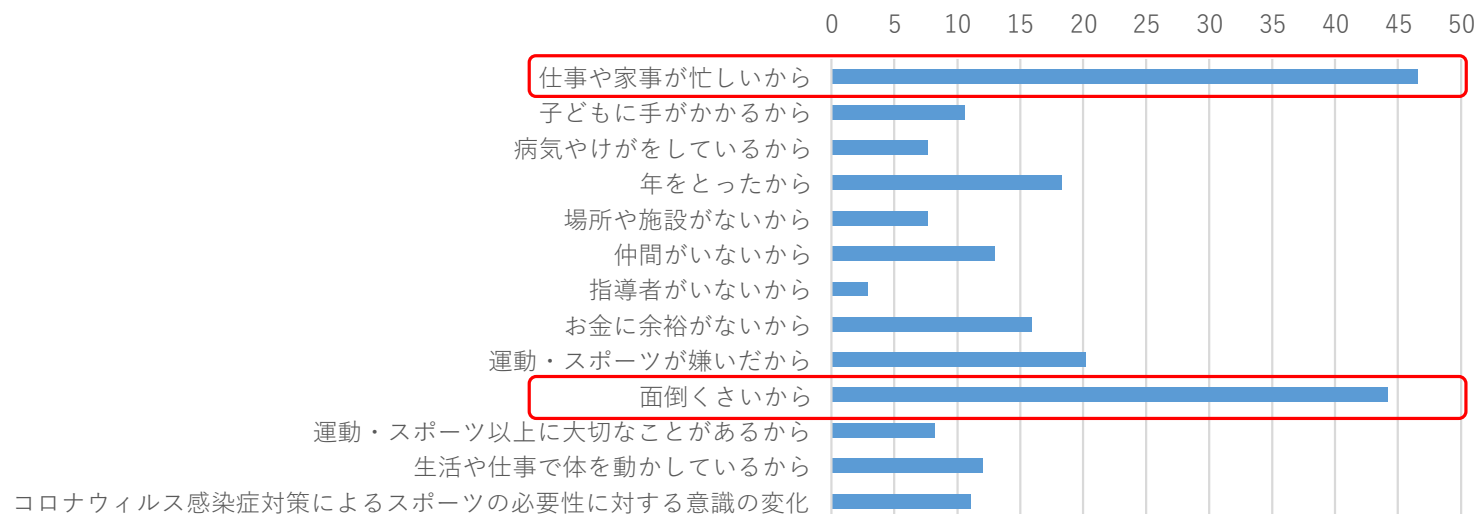


- ・働き世代、子育て世代がスポーツをする必要がある。
- ・スポーツに親しむ機会を提供する必要がある。

普段運動不足を感じるか （単位：%）



週に1日以上運動・スポーツを実施できなかった理由（単位：%）



本県のスポーツ実施率向上に向けた取組～スポーツに親しむ機会の提供～



しずおかスポーツフェスティバル

(令和4年度)

- ・種目別スポーツイベント（145種目：サッカー、インディアカ等）
- ・県内市町で各スポーツイベントを開催
- ・主催：県、県教育委員会、（公財）静岡県スポーツ協会

県民スポーツ・レクリエーション祭

(令和4年度)

- ・ニュースポーツふれあいフェスタ年4回開催（ミニトランポウオーク等）
- ・種目別大会（31種目：ドッジボール等）
- ・主催：県、静岡県レクリエーション協会主催



親子運動あそび プログラムの普及

(令和4年度)

- ・年間5回予定
- ・静岡県レクリエーション協会委託

基本方針2「スポーツ文化の醸成とスポーツを通じた共生社会の実現」

目標：する、みる、支えるのいずれかの形でスポーツに親しんだ県民の割合90.2%以上 (R3:89.5%)

【分析】スポーツに親しんだ（1年間で、する、みる、支えるのいずれかの活動を実施した）割合は、90%前後の高い水準で維持している。今後も県民がスポーツに親しむ環境づくりに努めていく。

する

スポーツ実施
(各種競技スポーツのほか、ウォーキング、階段昇降、キャンプ、釣り等も含む)



各競技のトップアスリートによるジュニア育成等

みる

現地観戦
または
TV/ネット観戦



ラグビーワールドカップ、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして競技の魅力発信



支える

ボランティア等実施
(大会・イベントのボランティアのほか、スポーツ指導、審判や、子供の部活動の送迎等を含む)

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたふじのくにスポーツボランティアの育成等



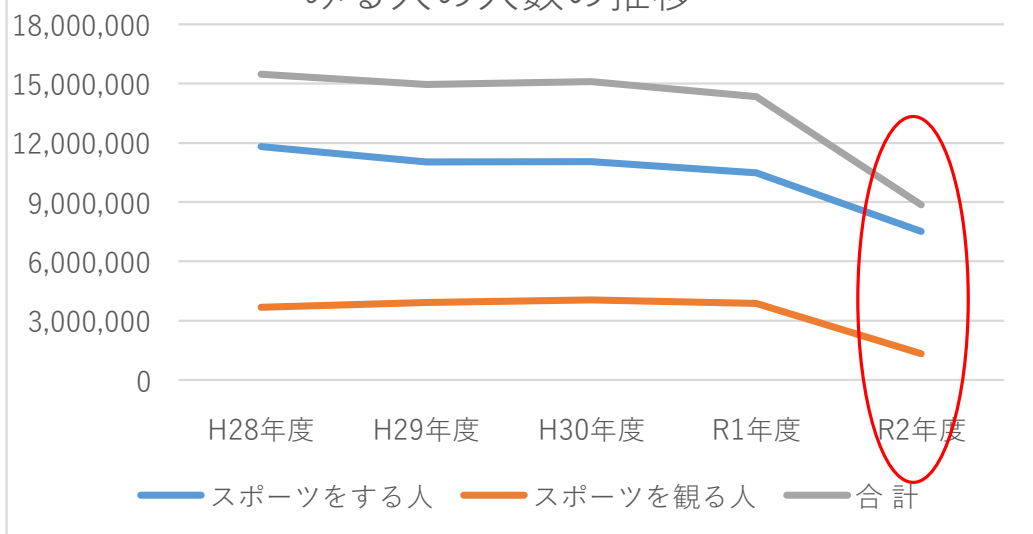
基本方針3 「地域特性を活かしたスポーツによる地域と経済の活性化」

目標：県内施設・大会等でスポーツをする人、みる人の人数1500万人(R2:886万人)

経年比較

出展：静岡県観光交流の動向

県内施設・大会等でスポーツをする人、みる人の人数の推移



R 2 個別前年比較

主要イベント参加者数	R1年度	R2年度	備考
ジュビロ磐田メモリアルマラソン	30,000人	中止	R4再開予定
焼津みなとマラソン	10,146人	中止	R4.4.10再開
全国PK選手権大会 in Fujieda	10,000人	中止	R4再開予定

主要施設利用者数 (スポーツ観戦等)	R1年度	R2年度	前年比
小笠山総合運動公園 (全施設の利用者、観戦者)	1,335,076人	240,286人	18.00%
富士スピードウェイ (モータースポーツ等)	722,707人	239,725人	33.20%
日本平運動公園球技場 (サッカー)	258,798人	92,917人	35.90%
ヤマハスタジアム (サッカー、ラグビー)	186,473人	54,042人	29.00%

【分析】

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限や運動施設の利用停止、スポーツ大会の中止等により、R2年度は大きく減少。
(する人) スポーツイベント参加者数は前年度比16.8%と大幅に減少。市民マラソン等のイベント中止が要因と推測。
(みる人) スポーツ観戦者数は前年比44.7%。プロスポーツ等の無観客開催や入場人数制限が要因と考えられる。



- ・ マラソン大会等は令和4年度から再開し始めている。また、県の施設である小笠山総合運動公園の利用者は令和3年度は517,598人と利用者数の回復が進んでいる。今後も、感染防止対策を徹底しつつ、戦略的な広報や機運の醸成等を推進し、スポーツをする人・観る人の人数の増加を図ります。